

## 第 7 期野尻湖水質保全計画の策定について（中間報告）

水大気環境課

## 1 専門委員

委員長	宮原 裕一	(信州大学理学部 諏訪湖臨湖実験所 教授)
委員	小澤 秀明	(信州大学工学部 特任教授)
〃	小松 一弘	(信州大学工学部 教授)
〃	近藤 洋一	(野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長)
〃	佐藤 宏幸	(信濃町住民福祉課 課長)

## 2 開催状況

【第 1 回専門委員会】 令和 6 年 7 月 25 日（木）

○審議内容：野尻湖の現況、第 6 期計画の進捗状況、第 7 期計画の骨子等

審議事項	主な意見	計画への反映等	素案
間接流域	・間接流域の範囲について、去年から伝九郎用水経由で鳥居川からも取水しているため、その範囲も間接水域に入るのではないかと。	・鳥居川からの取水を R5.9 月から再開しています。このため、諸元に記載の間接流域面積と流域図を修正しています。	P1 諸元 P15 参考
COD と他の項目との関連性	・透明度と COD や全磷の関係について何か解析されているか。 ・COD が上昇又は下降している年にフォーカスして、何があったのか調べると原因が分かるのではないかと。 ・第 7 期計画では水質保全に関する調査・研究を強化して、 <u>上昇傾向を抑えることに重点を置いた取組が必要ではないかと。</u>	・透明度と COD、全窒素等との関係について解析を行いました。COD との関係は特に見られませんでした。 ・野尻湖に似た傾向を示す他湖沼の事例を収集、整理しましたが、野尻湖の水質改善の参考となる情報は得られませんでした。 ・引き続き他湖沼の情報収集を行うとともに、 <u>水質常時監視データを使用した水草復元と水質項目との関連についての解析や流入河川の水質調査などの調査・研究を進め、原因究明に努めます。</u>	P3 水質 推移
水質目標値	・COD の目標値はどのような設定を想定しているのか。	・COD は、令和 5 年度に環境基準値（3mg/L）を下回ったことから、目標値は「現状水準の維持」とし、今後も引き続き環境基準を達成するよう計画に基づく取組を進めます。	P5 2(2)
野尻湖の活用	・野尻湖は主に水産業、水浴、レクリエーションといった観光資源として広く活用されている。水質が良好だからこそその活用策であること盛り込んでいただきたい。	・スポーツ大会などの機会に、野尻湖の水質や水質保全の取組などの情報発信に努め、環境保全意識の醸成及び観光地の魅力向上を図ります。	P10 5(3) ③
情報交換	・諏訪湖には「諏訪湖創生ビジョン」があるが、野尻湖にも <u>地元住民との情報交換の場があれば良い。</u>	・野尻湖の水質保全に関する機関等で構成する野尻湖水質保全対策連絡会議に加え、 <u>新たに信濃町と協議の上、地元関係者との意見交換会を開催したいと考えています。</u>	P11 5(4) ①

